

行政報告

平成20年度補正予算

◇一般会計(7、8回目の補正)

9,068万円 増 総額**68億4,914万円**

一般会計の主な補正

- ・障害者自立支援給付費 3,013万円の減額
- ・衛生関係施設燃料費 205万円の増額
- ・町営住宅修繕料 410万円の増額
- ・小中学校等教育施設燃料費 114万円の増額
- ・御影中学校耐震化工事 9,018万円の増額
- ・給食賄材料費 143万円の増額
- ・学校事故賠償金 655万円の増額

◇国民健康保険特別会計(4、5回目の補正)

2,535万円 増 総額**13億9,438万円**

国民健康保険特別会計の主な補正

- ・一般被保険者高額療養費 2,500万円の増額
- ・出産育児一時金 33万円の増額

※そのほか、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、簡易水道事業特別会計、上水道事業会計の補正予算案を原案のとおり可決。

条例の一部改正

◇中小企業近代化資金融資条例

現行の利子補給額年率1.5%相当を、平成20年12月1日から平成21年11月30日までの間の借入に限り、利子額全額の補給とする。

◇国民健康保険条例

産科医療補償制度の新設により、出産育児一時金の支給額を、必要あると認めるときは3万円を上限として加算する。

※そのほか、行政財産使用料条例、道路占用料徴収条例の一部改正案を原案のとおり可決。

清水町バイオスタウン構想及び地域バイオマス利活用事業の推進

国が進める戦略に基づき、町内の未利用バイオマス等の利活用について計画策定を進め、全国で157番目の策定市町村となった。農協が事業主体となり設置する耕畜連携型家畜排せつ物堆肥化施設は、平成21年4月に稼動し、牛ふん等を原料とした完熟堆肥及びペレット肥料を製造・販売する予定。

清水町長特別賞の贈呈

2000年、2004年、2008年のオリンピックで自転車競技ロードレースに出場した、本町出身の沖 美穂さんに、これまでの功績をたたえ、町長特別賞を贈呈した。

18歳未満の子どもに対する国民健康保険被保険者証の交付

すべての子どもの受診機会を保障するため、資格証明書の交付世帯であっても、18歳未満の子どもに対して被保険者証を交付する。

バイオ燃料地域利用モデル実証事業の進捗状況

施設整備事業は、北海道バイオエタノール株式会社が平成21年3月の工事完了を目指している。技術実証事業は、新規採用職員の教育、バイオマス関係講習等の研修を実施しており、技術試験についても稼動に向けて準備を進めている。原料の確保については、てん菜9に対して規格外小麦1となる見込み。

新得警察署熊牛駐在所の清水交番への統合計画

新得警察署から、熊牛駐在所を平成23年4月から清水交番に統合したく、地域説明に入りたいとの説明を受けた。現在4人体制の清水交番を5人体制にすることで警察業務の効率化を図りたいとのことである。

6月中旬の10日間ほど悪臭が漂い、不快な思いを訴える町民がいたが、この現状を町は把握していたのか。悪臭は何が原因で、どのような対応をしたのか。河川に流される工場排水は適正に処理されているのか。ペケレベツ川の石が茶色に変色しており、見た目に不快感を与えるが、問題はなののか。水質検査や事業所の指導はしているのか。



河川に排水している町内の事業所では、それぞれ自主測定を定期的に行っている。

環境汚染のない清水町に

西山輝和議員

移住、企業誘致などの取り組みは、第一印象で訪れる人に好印象を与えることが重要である。

町政を問う！ 一般質問

※この記事は、質問・答弁を要約したものです。
一議員2項目まで。3項目以降はタイトルのみ掲載。

高薄町長

町内の河川に事業所が排水しており、悪臭は工場排水に起因する可能性が考えられるが、事業所は排水等の自主測定を行い、法規制内の数値を守っている。

この悪臭は事故でない